



千曲市議会だより

No.75

6月議会

令和2年7月24日発行

みんな★の議会

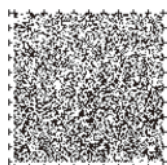
おばすて
棚田 姪 石 苑



名勝 姨 捨 (田毎の月)

二〇〇一年三月二十二日設置 千曲市 文部科学省

日本遺産 認定!!



6月定例会 CONTENTS

議案審議結果一覧	P 2
委員会報告	P 6
一般質問（個人）	P11
議員表彰	P18

議案番号	件 名	結果
議案第29号	千曲市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第30号	千曲市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第31号	千曲市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第32号	令和2年度千曲市一般会計補正予算（第3号）の議定について 注目!	◎
議案第33号	令和2年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議定について	◎
議案第34号	市道路線の廃止について	◎
議案第35号	市道路線の認定について	◎
議案第36号	市道路線の変更について	◎
議案第37号	訴えの提起について	◎
議案第38号	令和元年度台風19号豪雨災害復旧事業 五十里川排水機場ポンプ復旧工事請負契約の締結について	◎
議案第39号	令和2年度消防ポンプ自動車購入契約の締結について	◎
議案第40号	千曲市長等の給料の減額に関する条例制定について	◎
議案第41号	令和2年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について 注目!	◎
議会第5号	千曲市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第42号	令和2年度千曲市循環バス「大循環線（西回り）」車両購入事業契約の締結について	◎
議案第43号	令和2年度千曲市循環バス「更級戸倉線」車両購入事業契約の締結について	◎

議 案 … 33 件

賛否の分かれた議案については市議会のホームページをご覧ください。



注目!

令和2年度千曲市一般会計補正予算

(3号) 1億9,800万円

+

(4号) 3億8,400万円

合計 5億8,200万円

主な事業は、GIGAスクール事業として児童生徒へ貸与するパソコン端末機（1人1台）に2億7,192万円、小・中学校に無線RANを整備するための工事費として1億4,900万円、ちくまっこ応援子育て臨時給付金（子ども1人につき1万円）に7,875万円、霞堤への大型土嚢設置（2,000袋）に2,500万円を計上しました。

6月定例会（6月1日～6月18日）

令和2年度一般会計及び特別会計補正予算案を可決

6月定例会では、千曲市一般会計補正予算を含む33件の議案を審議しました。本定例会において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急経済対策経費及び感染予防対策経費等の追加経費が盛り込まれた一般会計補正予算（第1号）及び（第2号）の専決処分や一般会計補正予算（第4号）など、提出された新型コロナウイルスに関連した議案すべてを全会一致で可決・承認しました。

議案審議結果一覧

採決結果：◎全会一致で可決・承認 × 否決

議案番号	件 名	結果
議会第1号	千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について	×
専決第1号	専決処分事項報告について（千曲市税条例等の一部を改正する条例）	◎
専決第2号	専決処分事項報告について（千曲市都市計画税条例の一部を改正する条例）	◎
専決第3号	専決処分事項報告について（千曲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	◎
専決第4号	専決処分事項報告について（千曲市介護保険条例の一部を改正する条例）	◎
専決第5号	専決処分事項報告について（千曲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）	◎
専決第6号	専決処分事項報告について（令和元年度千曲市一般会計補正予算（第8号））	◎
専決第7号	専決処分事項報告について（令和2年度千曲市一般会計補正予算（第1号））	◎
専決第8号	専決処分事項報告について（令和2年度千曲市一般会計補正予算（第2号））	◎
専決第9号	専決処分事項報告について（千曲市税条例の一部を改正する条例）	◎
専決第10号	専決処分事項報告について（千曲市都市計画税条例の一部を改正する条例）	◎
議案第23号	千曲市市民交流センター条例の制定について	◎
議案第24号	千曲市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第25号	千曲市手数料条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第26号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第27号	千曲市ふれあい福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第28号	千曲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎

質 疑

Q A

質疑とは、議題となっている案件に関する疑義をただすために行う発言をいいます。

議会第1号

〇千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について

問

柳澤 眞由美 議員

千曲市には平成15年9月1日に施行された「千曲市差別撤廃人権擁護条例」がある。審査の中で出た、この条例について委員の意見・所管課の意見等詳細な内容を伺う。その際、既存の条例があるので今回提案された部落差別の解消の推進を含めて、充実するよう改正する方が良いという議論はなかったか。

答

前田 きみ子 福祉環境常任委員長

あらゆる差別のない明るい千曲市の実現に寄与することが目的とされている「千曲市差別撤廃人権擁護条例」の中で、全ての差別が含まれているのではないか。との意見も出された。

問

柳澤 眞由美 議員

議会提案の条例制定について、パブリックコメントは議会として義務がないとのことだったが、今まで3つの議会提案条例はパブリックコメントを行ってきた。今回もパブリックコメントを行うべきとの議論はなかったか。

答

前田 きみ子 福祉環境常任委員長

議会提案条例の手続きとして、必ずしもパブリックコメントをしなければならぬという事ではないとの報告があった。

議案第42号

〇令和2年度千曲市循環バス「大循環線（西回り）」車両購入事業契約の締結について

問

中村 了治 議員

市が購入する2台の循環バスの価格差について質問したい。1台が「大循環線（西回り）」で約2786万円余り、もう1台の「更級戸倉線」は約2325万円余りで約460万円余りの価格差がある。この価格差が生まれた理由は何か。

答

価格差の理由は仕様の違いによるものである。「大循環線（西回り）」のバスは、中型のノンステップバスで定員は58人である。一方、「更級戸倉線」のバスは、小型のノンステップバスで定員が29人である。この価格の差は、運行する路線に見合った型のバスを購入することにしたので、その結果として生じたものである。



討 論

討論とは、本会議や委員会等で採決に入る前に議題となっている案件について、賛成または反対の意見である理由を述べ、自分の意見に賛成・同調することを他の議員に求めること。

議会第1号

〇千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について

反対

林 愛一郎 議員

千曲市には「千曲市差別撤廃人権擁護条例」があり、この条例の改正こそが部落差別解消の趣旨に則ると考える。

現在の「千曲市差別撤廃人権擁護条例」は中身の薄い条例となっているので、これを見直して、部落差別撤廃も明文化して改正すべきだと考える。

昨今話題となっているSNS上の人権差別に対する規制を法令化する動きもあるが、様々な人権差別に対して後追いで法令や条例の制定を行うのではなく、差別が生まれる根源となっている、他を貶め自らを優位とする卑しい行為を絶つ努力こそ肝要であると考えます。

今回のように、既存の条例に屋上屋を架す個別条例を作ることは反対する。

反対

中村 了治 議員

条例制定によって、千曲市では「被差別部落はどこ、出身者はだれ」といった新たな差別を掘り起こす。今は転居者も増え、仲良く協力しあって暮らしている地域にとつて、条例制定でこれまでの努力が無駄になってしまう。

千曲市では、部落差別の事案は報告されておらず、様々な差別解消に向けて着実な成果が上がっている。

「市民の声を聞かず議会の調査研究は必要がない。」という提案者の考えは議会の自己否定になってしまふ。

今は「不心得者」が現れても周囲は同調せず説得する時代。「人権尊重」の理念は、あらゆる差別を許さない原点であり、「部落問題」だけを特化した条例制定には反対である。

反対

中村 直行 議員

千曲市は部落差別をはじめとするあらゆる差別のない明るい千曲市実現のため「千曲市差別撤廃人権擁護条例」を平成15年9月制定した。同時に施行規則と「部落解放・人権政策確立」の実現に向け、部落解放・人権政策確立要求千曲市推進本部設置要綱も定め体制ができて進めてきているのに新たにこの条例を作ることには屋上屋になる。平成28年12月に法律が制定後、県内で新たに条例を作った市町村はなく木島平村が今ある条例を改正しただけである。我が市も改正の必要があるなら充分討議をして改正すべきだ。今回の条例提案は各党派持ち回りで署名を集めるという手法で、議員間討議も全くなく、短期間に議員提出されたもので賛成できない。

賛 成

宮入 高雄 議員

私の50年来の親友、部落出身のA君が、共に20歳のころこう言った。「宮入君はいいなあ、普通に通に生まれてきて。よかったな。」この一言は今でも忘れることができない。

私は4期16年間市会議員をさせていただいたが、A君のあの一言を議員の使命として生かすことは、今日まで何一つできなかった。誠に不甲斐なく忸怩たる思いである。

部落差別問題は未だに年間100件以上の人権侵犯が発生しており、当市にとつても未来永劫、人権が尊重される崇高な文化のまちを市民とともに育て求めていくことが重要である。

本議案は法律に基づく、当市の責務を明確にした純粋な条例提案である。

◆ ◆ 福祉環境常任委員会 ◆ ◆

委員会開催日：6月12日
議案8件の審査と所管事項調査

○議案第27号 千曲市ふれあい福祉センター条例の一部を改正する条例制定について

問 旧戸倉庁舎がふれあい福祉センターになるが、稼働は、入る団体は

答 10月1日稼働で進めている。社会福祉協議会の戸倉上山田包括、老人クラブ連合会、千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター、更埴地区更生保護サポートセンターが2階に入る。4階は貸館、会議室になる

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第28号 千曲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

問 附則第2項中「平成32年3月31日」を「令和7年3月31日」の解釈は

答 放課後児童支援員の資格研修受講の期間を5年間延ばすもの

問 今の指導員は、千曲市の現状では足りているか

答 なかなか応募がなく、人材が集まらない現状。条例改正により採用時に資格がなくても5年間の中で受講すればよいとした内容である

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第41号 令和2年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について

（第3款 民生費）

担当課より補足説明

「ちくまっこ応援子育て臨時給付金」は、市独自事業として子育て世帯を支援する臨時給付金、児童1人につき1万円を給付するもの

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

◆ ◆ 建設経済常任委員会 ◆ ◆

委員会開催日：6月15日
議案6件の審査と所管事項調査

○議案第35号 市道路線の認定について

問 雨宮産業団地造成事業に関連する市道認定だが、台風19号災害を受けて道路の嵩上げによるレベルの変更は。また、土口と雨宮の基幹道路としての性格や通学路的な利用もある。安全対策は

答 造成地を南北に走る市道は中央付近で1mほど高くなる。他の市道は現状の地盤どおり。今回の認定市道は、全て歩道がつくため安全に通行できる

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第41号 令和2年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について

（第8款 土木費）

問 霞堤の遊水地に置く大型土嚢について

答 土嚢を応急的に積む予定の遊水地がある中地区と八幡地区については、設置場

所に誤解があり、市民に正しく理解してもらうため、周知方法を検討し、速やかに発信する。設置予定地区の説明会、地権者交渉はすでに始めている。土嚢設置の安全性等については、専門家に委託している浸水被害シミュレーションの中では、構造的に大丈夫との所見である

問 土嚢の設置についての国の許可は。また下流域に与える影響は

答 千曲川河川事務所では、千曲市が行う水防活動の一環という認識である。また、土嚢設置予定箇所は遊水地機能を大きく制限するものではないので雨宮等の下流域への影響はほぼないと認識している

問 国の遊水地の整備計画については

答 概ね令和6年を目途の予定

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

委員会報告

6月定例会で提案された議案は、各常任委員会に付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果です。

◆ ◆ 総務文教常任委員会 ◆ ◆

委員会開催日：6月11日
議案7件の審査と所管事項調査

○議案第37号 訴えの提起について

問 平成29年9月市所有の県宝松田家住宅主屋ほか、市指定文化財3棟などを全焼させた件について、蜂駆除の業者選定、契約書ができていたか

答 蜂駆除は口頭契約だった。非常に反省しなければならない。今後は市の施設全般について専門業者に委託する

問 なぜ訴えるのか

答 共済金請求の時効が近づいている。時効までに和解できなければ共済金の請求ができなくなるため。共済金請求の決まりで、瑕疵案件の場合は市が相手方に請求し、損害賠償額を差し引いた額が共済金として入ってくる。相手方に資産開示を求めている。時効までに和解できなければ提訴することになる

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第41号 令和2年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について

問 防災対策費800万円の委託料は、携帯

電話でも情報が見られるようだが、これまでの防災メールのように申請が必要なのか

答 従来のメールと同じく申請が必要。違いは、登録すると防災無線屋外告知放送の音声が再生できる。登録を増やし、意義のあるものにしたい

問 児童生徒の皆さんに1人1台のパソコンということで、大変喜んでいる。児童生徒にいつ届くのか、パソコン導入までの流れは

答 1人1台のパソコンは、県の自治振興組合が主体で共同購入を進める。早く支給したいが、新型コロナウイルスの影響で見通しが難しい。初めのGIGAスクール構想のスケジュール案では、6月下旬から7月下旬に共同購入業者選定契約を確定、随時市町村で契約となり、7月下旬から8月以降に導入予定だった。具体的な情報はまだない

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定



特別委員会報告

委員の任期満了に伴い、各委員会に付託された事項について報告がされました。

企業等誘致推進特別委員会

当委員会の付託事項は、「企業誘致推進に関すること」、「公共施設、学校等の誘致に関すること」、「その他これに関連すること」の3点であり、これまでの約4年間で34回の委員会を開催して、慎重な調査を重ねると共に、諸案件の促進に努めた。

当委員会の活動を総括すると、当初の付託事項であった「新幹線新駅誘致推進に関すること」に関しては、「新幹線新駅誘致を断念」とした市長に対し、新市建設計画、総合計画、創生戦略の中で重要基幹施策として位置づけられていたことから、本件に対する真意と行政の長たる市長の免れない政治責任、議決事項に対する責任等を質したが、こうした事態の惹起を回避すべく、チェック機能を発揮しえなかった議会にも相応の責任があるものとし、当委員会の委員長として大変重く受け止めた次第である。

雨宮の大規模物流施設の誘致に関しては、市の手法変更などについて、丁寧さとスピード感の欠如を厳しく指摘し、反省を促した次第であるが、今後は、この反省を活かして、次に繋げるよう期待する。

また、屋代の大規模商業施設誘致に関しては、ようやく市も担当職員を配置して体制を整えた。大型商業施設誘致の道のりは、数々のハードルを越えての事業となることから、当初より、スピード感を持って取り組むこと。タイミングを逸することなく対処すること等を勧告し続けてきた。今後も千曲市の基幹施策の推進という認識にたち、

さらしなの里振興対策特別委員会

当委員会は、歴史的風致維持向上計画等に基づく川西地区の振興に関する事、姨捨スマートインターチェンジのフル規格化及び姨捨駅周辺整備に関する事、新国道バイパスの建設に関する事を付託事項として調査・研究を行ってきた。

令和元年11月15日、新国道上田篠ノ井間及び、国道18号上田バイパス第2期工区建設促進の早期建設に関する合同要望に委員長が参加し、関係省庁及び国会議員へ要望を行った。未事業化区間の早期事業化等の要望に地元区長も参加され、生の声を届けられた事は有意義であった。

11月25日、委員会を開催し、歴史的風致維持向上計画及び、姨捨棚田に関する事業の専従職員等の配置についての進捗状況を聴取。また、名月会及び楽知会との懇談会で出された要望事項の進捗も併せて聴取した。次に、新国道バイパスについて委員長より要望活動の報告を行い、現状の説明を受けた。続いて、姨捨展望ビュースポットについて説明を受け、最後に、歴史文化財センターより4度目の日本遺産の認定申請の報告を受けた。(6月19日、日本遺産認定)令和2年2月4日、市単独の国道18号バイパスの早期建設に関する要望に正副委員長が参加し、関係省庁及び国会議員へ要望を行った。商工会や観光業の方も参加され、バイパスの建設促進等を求めた。今後は災害復旧とも連動した要望が急がれると共に、バイパス早期事業化に向け、効果的な

委員会報告

誘致実現に向けて、鋭意努力されることを強く望む。

高等教育機関の誘致に関する件では、千曲市内への進出意向の申し出があった新潟薬科大学へ赴き、データ収集及び意見交換などを行って、調査検証を進めてきた。

企業や学校等の立地実現が市力増強の根幹であり、市の福祉や教育等の諸施策の充実に不可欠であることから、引き続き積極的な対処・対応を期待する次第である。以上、当委員会の最終報告とする。



▶大型商業施設誘致の導入に向けて検討されている屋代上信越道西側一帯

要望となるよう、積極的なトップセールスの必要性を強く感じた。

さらしなの地の経済発展及び観光資源の重要性を再認識すると共に、姨捨スマートインターチェンジや新国道バイパスに加え、防災や地場産業の拠点となる道の駅整備等、高いポテンシャルを持つこの地の発展に市民と行政・議会が丸となって取り組むべきと考える。

昨年から、東日本台風で新型コロナウイルスと非常に厳しい時期が続く、川西地域の振興に特化した当委員会の研究・調査が大きく進められなかったことは大変遺憾ではあるが、この難局を突破したあかつきには、大きな可能性を持ったさらしなの地が、明るい未来の一つになることは言うまでもない。

当委員会に付託された事項の調査・研究はこれをもって終了とし、当委員会の報告とする。



▶大きな可能性をもった「さらしなの地」

総合計画及び公共施設再編特別委員会

昨年5月27日の委員会では、「公共施設再編計画」の進捗について、また平成27年度策定の「公共施設の総合管理計画」に基づく各部署への後方支援の現状について担当部署から聴取した。さらに、新庁舎開庁後の戸倉庁舎の「連絡所」設置の説明を受けた。11月6日の委員会では「長野市及び千曲市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に関して、担当部署より事業の進捗状況の報告を受けた。

また、「第二次千曲市総合計画後期基本計画策定方針」の基本的な考え方について説明を求め、委員会として実施する上での考え方や綿密な計画立案の重要性等を強く申し入れた。

1月20日、21日、静岡市と横浜市を視察調査し、「総合計画の策定と見直しの考え方」、「総合計画に『SDGs』を取り入れる考え方」等について説明を受けた。両市とも「SDGs」に沿って総合計画策定を進めており、今後の参考になるものであった。

1月24日の委員会では、「戸倉上山田連絡所」の実状について担当部署から、「開設時に比べ、利用者数は減少し続けており、令和2年3月末をもって閉鎖の方向で進める。」との考えを受け、地元へのサービスは維持できるとのことから委員会として「連絡所」閉鎖について承知した。

3月13日の委員会では、令和元年東日本台風災害の「復旧計画(案)」について、市民生

活安定とインフラや被災施設の現状回復重視の「復旧計画」を先行し、次に中長期的な視点に立った「復興計画」を策定していく説明を受けたが、さらに注視していきたい。千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長については「第二次千曲市総合計画」の後期基本計画が令和4年度から開始する。現総合戦略を令和3年度まで延長すること、千曲市総合計画の計画期間と整合させ、両者を一括して管理していく旨の説明を受けた。併せて、この2年間の延長については、現行の内容は改訂せず、KPIの目標値を2年後に設定していく説明も受けこれを承認した。

以上、当委員会の最終報告とする。

※KPI＝重要業績評価指標



▶更埴、戸倉、上山田の旧庁舎

一般質問(個人)

13名が
市政を問う!

日程	掲載頁	氏 名	通 告 事 項
6月8日(月)	12	林 愛一郎 (自由民主クラブ)	1 遊休農地の荒廃対策について 2 過去に無い深刻なあんず凍霜被害に農家への救済措置を 3 市長の3 期目への抱負は
	12	齋藤 正徳 (日本共産党千曲市議団)	1 沢山川の災害復旧工事について 2 持続可能な杏の里の将来について 3 新型コロナ危機のもとでの学校等における対応について
	13	大澤 洋子 (無会派)	1 部落差別解消の学習と啓発の継続を 2 多重介護者への相談支援について 3 地域おこし協力隊・集落支援員の活動と成果 4 新型コロナ緊急事態解除後の新たな社会
	13	前田きみ子 (日本共産党千曲市議団)	1 市民の安全な町に 2 地域共生社会の実現をめざす拠点施設の設置について 3 災害時における避難所運営について 4 ピュアハートの運営について
	14	柳澤 眞由美 (公明党)	1 新型コロナウイルス感染症と市民の生活 2 豪雨や地震等災害への備えは十分か
6月9日(火)	14	中村 眞一 (科野の会)	1 令和元年東日本台風の復旧、復興事業の推進状況について 2 新型コロナウイルス感染症について
	15	倉島 さやか (千曲政経会)	1 学校での新型コロナウイルス感染症対策について 2 経済活動の再開に向けた取り組みについて
	15	北川原 晃 (千曲政経会)	1 新型コロナウイルス感染症対策関連 2 高齢者福祉について
	16	滝沢 清人 (公明党)	1 雨期・台風シーズンを前に水害対策と感染症対応を 2 S D G s 国連が提唱する「行動の 10 年」「挑戦の 10 年」、市の展開は
6月10日(水)	16	宮坂 重道 (千曲政経会)	1 「生き物の命を大切に」について 2 千曲川の治水対策について
	17	和田 英幸 (自由民主クラブ)	1 台風 19 号災害の浸水原因と対策 2 千曲市 B C P (緊急事態対応マニュアル) 作成を
	17	金井 文彦 (科野の会)	1 コロナ禍からコロナ後に向けて、今できること、やるべきこと
	18	中村 了治 (日本共産党千曲市議団)	1 新型コロナウイルス感染症防止対策について 2 八幡東産業団地造成事業について 3 幹線道路の信号機の改善について 4 市長の考える「リーダーシップ像」とは

特別委員会報告

議会広報特別委員会

当特別委員会は平成28年8月3日より委員8名をもって、「議会広報に関すること」「議会だよりに関すること」「その他これに関連すること」を付託事項として、調査・研究・検討を進めてきた。

これまで9回の議会だより「みんなの議会」を編集発行し、速報は5回発行した。この間、戸倉上山田中学校の改築、ことぶきアリーナ千曲竣工、新庁舎の完成、超大型の令和元年東日本台風による被災、史上希にみる新型コロナウイルス感染症対応など、議会の取り組みを発信してきた。

平成31年2月12日には、初めてとなる中学生議会が開催された。屋代高等学校附属中学校2年生による模擬議会は、本物の市議会本会議さながらに、生徒たちがグループに分かれ研修してきたテーマに関して、グループの代表6名の中学生議員が質問を行い、これまで調査・研究してきた成果を課題にまとめ、質問・再質問をし、さらに皆が熱心にメモを取る中学生の真摯な姿に感動した。

先進地への視察調査では、令和元年5月に「あきる野市議会広報委員会」と、埼玉県「会議録研究所」を視察した。あきる野市議会報「ギカイの時間」は、第8回マニフェスト大賞を受賞しており、委員の方々の議会報に込めた熱い思いを聞き、「議会報は議会を知るキッカケ」であり、徹底した市民目線で作成、読み易いボリュームと記事とレイアウトを重視するなど大いに



▶議会広報特別委員会による議会だより校正の様子

参考となった。

会議録研究所は、会議録検索システムでお世話になっており、社内をすべて見学し各現場ごとに作業の説明を受け、その後の企業説明会・質疑などを通し、全国自治体の状況や傾向などを聞き、約半数の自治体でインターネット映像配信が始まるなどICT化が加速している現状に、わが市の今後の方向性を確認した。

令和元年9月定例会より賛否の分かれた議案について議会ホームページへの掲載を開始した。

今後も積極的な情報発信に務め、市民に開かれた議会となるよう議会・議員の活動を配信していく。





林 愛一郎

遊休農地の荒廃対策について

問 昨年9月議会で質問した東小
学校北側の荒廃水田に関して、その
後どのような対処を行い雑木の伐
採に至ったか経緯を説明されたい。

家の生産意欲が失われることを最
も危惧している。
その対策として、これまで実施
してきた消毒用薬剤購入費の補助
率を3分の1から2分の1に引き
上げると同時に、新たに防霜資材
購入費の補助を行うこととした
い。また、昨年より開始された「収
入保険」に加入する際の掛金に対
する補助制度を創設し、加入促進
を図って参りたい。

【その他の質問事項】
○市長の3期目への抱負は

答 昨年10月に農地共有者4名の
うち1名に荒廃状況の解消を指導
し、その後も電話等で指導を行っ
てきたところ、先月になって、鳥
獣被害等環境面への影響や近隣に
統合保育園が建設されることから
景観上の影響も考慮されて、樹木
の伐採がなされたという経緯を確
認した。

今後の農地復旧については、農
業委員会の本分でもあるので、粘
り強く指導して参りたい。

■深刻な杏凍霜被害に給付金支給
を

問 今年の杏凍霜被害は過去に無
い深刻な状況にあり、農家が事業
継続意欲を失う恐れがある。今年
に限って、消毒代程度の給付金支
給を検討願いたいがいかがか。

答 今年の杏収穫量は、凍霜被害
と降雪被害によって、過去20年間
で最低になると予想しており、農



▲雑木林ようになった遊休水田の伐採前と伐採後



齋藤 正徳

沢山川の復旧と 杏の里の将来は

問 沢山川の災害復旧工事につい
て、豪雨や台風など風水害が多発
する時期の備えは万全か。

答 河川内の水位上昇に伴う漏水
が主な要因と認識している。堤防
本体を盛土し直し、コンクリート
ブロック護岸は一旦撤去し、遮水
シートを敷設したうえで新たに積
みなおす計画である。

8月下旬から河川外の仮設工事
に着手し、渇水期の11月から河川
内の工事を開始する予定である。
それまでは施工業者と協議し、災
害復旧現場内の保全と併せて、災
害時の対応がとれる体制を図る。

問 破壊しない堅固な構造にする
ための抜本的対策は。

答 県はセミバック堤区間である
東部体育館付近までの間、堤防天
端舗装による堤防強化を計画して
おり、今年度着手する予定と聞い
ている。沢山川水害対策促進期成
同盟会としても、抜本的対策とし
て沢山川堤防を千曲川堤防と同じ
高さにすることが必要と考える。
6月下旬に県に要望するとともに
、長野県議会に請願書を提出す
る予定である。



▲凍霜害に加え、ひょう害にあった森の杏

問 持続可能な杏の里の将来につ
いて、凍霜害による杏被害の実態
と支援は。

答 今年の杏収穫量は、昨年の収
穫量のおよそ7割以上の減収を見
込んでいる。杏農家の生産意欲の
低下が懸念されることから、「か
いよう病」防除に対する薬剤や、
防霜資材購入に要する費用の助成
を行うと共に、収入保険の掛け金
の一部を補助するなどの制度を創
設し、農家の加入促進に努める。

※かいよう病＝葉・果実・枝に褐色のコルク化した病斑を形成する細菌病



大澤 洋子

多重介護者に 総合相談窓口を

問 部落差別を日本の社会制度と
してつくり、維持し続けた歴史が
ある。〴〵人の世に熱あれ 人間に
光あれ〴〵は部落差別をされた人達
の苦しみから発せられた水平社宣
言。差別する人は自身の不安や恐
れ、攻撃などからの差別に対して、
対等な人間関係で、尊重し合う人
権感覚を磨き高める対話の啓発と
学習継続が必要。

答 市職員研修では、「部落差別
の解消の推進に関する法律」を取
り上げた。今後も学校教育・社会
教育を通じて差別意識をなくし、
人権を大切にする教育・啓発活動
を積極的に行っていく。

問 多重介護者の課題を解決改善
するための全年代への総合相談窓
口と家族丸ごと支える複合的課題
への対応は。

答 相談者と関係する支援者で課
題を共有し、解決に向けて多面的
にサポートしていく必要がある。
「高齢者の総合相談窓口」として、
市内3か所に地域包括支援セン
ターを設置している。



▲コロナ禍後のあらたな内需喚起
は“すてきな暮らしここにあり”
と考えること

このウイルスと共生していくため
にも内需喚起による経済循環型地
域社会を。

答 「食べて応援・買って支援事
業と、観光需要喚起支援事業（千
曲で遊ぶう！泊まって食べて
キャッシュバック）」を実施中で
ある。今後も地域経済循環型事業
について支援していく。

問 食料自給率をもっと上げる農
業政策がのぞまれる。

答 学校給食での活用やスパー
ー等での産直コーナーなどの販売が
考えられる。

問 公民館は自粛解除後7日間休
館、その後8日間会議のみの利用
制限は必要だったのか疑問。

答 利用者へ十分な周知と安全の
為必要だった。



前田 きみ子

県道の規制速度と 段ボールベッドについて

問 稲荷山を通る県道77号の規制
速度が、時速40kmから50kmに変更
された。町の中は、歩道も狭く大
変危険である。何故危険な速度に
なったのか。また、稲荷山養護学
校から南側の県道は路盤と歩道が
古く路盤の改良と歩道の整備につ
いては以前も質問したが、歩道は
コンクリートで高さがあり、各家
庭からの車の出入り部分は低くな
り、歩道部分は高く波打つような
歩道になっている。またドットラ
インの敷設を。

答 県道77号の規制速度は、稲
荷山交差点から佐良志奈神社交
差点の間が、本年1月から時速
50kmに引き上げられた。警察庁
からの通達で交通事故、道路構
造や沿線状況を勘案して実施さ
れた。議員提案のドットライン
も含め千曲警察署及び道路管理
者に働きかけていく。

杏泉閣入り口交差点北側の県
道の歩道整備は、出入り口部分
が低く歩道が波打つ形となり、
車いすでの通行がしづらい状況
を承知している。

県千曲建設事務所では、幅員



▲稲荷山交差点前の50kmの標識

の拡幅が必要との考えで、市は
必要な沿道の関係者や地元の方
の意見が得られれば、歩道整備
について県に要望していく。

問 3密回避の避難所の在り方
は、①自宅2階以上の垂直避難②
近隣の高さがあるコンクリートの
建物への避難③公共施設への分散
避難④車中避難がある。段ボール
ベッドは、35cm高さがあれば、飛
沫は飛び上がらない。いくつ備蓄
があるか。

答 避難所運営では3密を避ける
仕切りの設置2mのスペースを確
保。段ボールベッドは24床、パ
ーティションは388区画、プライ
ベートルーム28張備蓄している。
今後備蓄を増やしていく。

※ドットライン＝車線を狭く見せることでスピードを抑えるよう促す白色の破線



眞由美 柳澤

コロナ禍への対策と 大雨災害への対応は

問 学校生活と学習の遅れについて、「失われた3か月」とも言われる学びの機会を取り戻す施策は何か。

答 夏休みの短縮、行事の厳選等児童生徒や先生の負担とならないよう学校にお願いする。また、学びの歩みを止めないようGIGAスクール構想でICTを整備し、オンライン学習ができるように進めたい。

問 水泳授業の取り扱い。また、第2波に備えた学校の対応は。いじめも予想され、新しい生活様式には新しい人権教育が必要だ。

答 水泳授業と市営プールは中止。ガイドラインは常に見直し、偏見やSNSのモラルを含めた人権教育の組み込み指示、保護者を含めた啓発を行う。

問 自粛が解除された今こそ、市民の心身の健康を回復するため「健康ポイント制度」を導入する時ではないか。

答 様々な媒体で運動やヨガを勧める。導入については検討していく。

問 地方創生臨時交付金を使って

千曲市独自の「きめ細かな支援策」が求められている。支援の一つとして、学校内の清掃を業者委託する考えはないか。

答 可能か、庁内の調整が必要である。

問 13小中学校への備蓄は進んでいるか。また、「自分に合った避難」のためにも、情報発信と受信体制が重要であるが、屋外告知放送が聞きにくい市民への対策は何か。

答 13小中学校への災害備蓄品は、昨年の台風19号の経験を活かし、台風シーズンまでには完了させる。戸別受信機は本年度950世帯へ設置するとともに、スマホやガラケーへの音声配信システムの導入を進めている。



▲GIGAスクール構想
児童生徒1人1台のパソコンで学習



さやか 倉島

新型コロナウイルス 感染症対策

問 千曲市版GIGAスクール構想における通信環境、端末整備の今後の予定について。

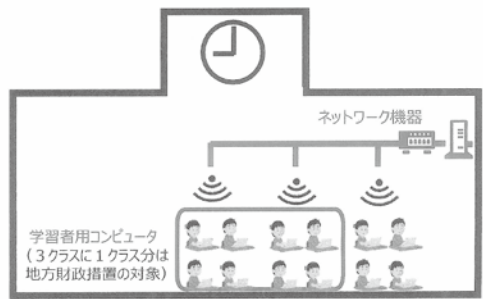
答 文部科学省が令和2年度に限って行う補助制度を活用し、今年度校内通信ネットワークの整備を行う。端末の購入は、長野県市町村自治振興組合で進めている共同調達に参加し、購入したいと考えている。

問 コロナ対策として学校の休業措置が取られ、生徒は家庭学習をすることとなった。公立と、私立では格差があったのではないか。

答 学力の格差は感じている。今後もICTを活用した学習は広がっていくと思われるので、市として環境整備に早急にしっかりと取り組んでいく。

問 大臣官房審議官は緊急事態では、「ネット環境が揃っていないからやらないではなく、まずは、有る子どもは始めて、無い子どもにはどういう手立てができるか全力で考えよう」と発言している。千曲市もそのように対応すべきだ。

答 インターネット環境整備が50%という調査結果から紙ベース



▲令和元年度補正予算（GIGAスクール構想の実現）の概要（文部科学省）を加工して作成

としたが、三たびの休業も想定して、オンライン学習の実施に向けて研修、整備を進めていく。

問 学びの保障について。中止となった学校行事は、コロナ禍後は再開する予定でいるのか。

答 そのような予定でいる。

問 経済活動の再開に向けて、コロナ追跡システムの活用について。

答 利用や、周知について今後検討していく。



眞一 中村

新型コロナウイルス感染症に伴う 経済支援体制は

問 新型コロナウイルス感染症に伴う助成金として、前年比50%以上の売り上げが減少した事業者に対し、事業全般に使える「持続化給付金」を交付している。国に対するオンライン申請で事業者は申請に苦労しているが。

答 コールセンターや県内16か所の「申請サポート会場」を利用していた。市においても既に相談窓口を開設している。

問 給付金が少額なので、国の地方創生臨時交付金を使った市の特別対応はできないか。

答 給付金は、売り上げ減少分をすべて補うものではなく、事業継続を支えるものである。さらに、市独自の加算給付金として事業継続給付金も交付している。

問 旅館ホテル、飲食店の補助は。いわゆる「3密」対策を講じた店舗は補助対象にしても良いのではないか。

答 市独自の「旅館ホテル事業継続支援給付金」「飲食店及び喫茶店業態転換等奨励金」で対応している。「3密」対策を講じた店は県の「新型コロナ対策推進宣言の



▲新型コロナウイルス感染症に伴う
主な助成金・給付金等まとめ

店」として宣言している。

問 公共交通機関としてのタクシーやバス事業者、旅行事業者等も売上げが激減しており、具体的支援も緊急を要すると思うが。

答 観光全般に対する支援策について、市長会等を通じ県に対し要望したが、今後、県の支援策を注視していきたい。また市の独自支援策についても今後研究していきたい。



晃 北川原

今すぐ地域経済再生 復活のテコ入れ策を

問 国の特別交付金を早急に有効活用し、コロナによる外出自粛や休業要請で深刻な影響を受けている市内事業者に次の支援を緊急要請する。

①業態転換等奨励金は予算（5100万円）の半分しか執行されていない。残り（2550万円）を再給付できないか。

答 当初510店を想定したが申請は286店だった。ホテル内の飲食店などまだ申請を出していない店があるので確認をする。

②持続化給付金の加算給付金（40万円・20万円）は予算5億円に対して2000万円しか支給されていない。申請者には先行して給付できないか。

答 5億円の予算と給付額がかけ離れているが、申請件数を把握できていない状況を含め経済界と相談する。

③他市のような使いやすい「プレミアムクーポン券」を発行できないか。

答 今後第2弾でクーポン券の発行を予定している。

④市内飲食店が始めた「うちめし



▲千曲市テイクアウト＆デリバリー「うちめし千曲」

【その他の質問事項】
○高齢者の福祉、老々介護などの「介護問題」について

千曲」を市役所も利用し応援できないか。

答 私（市長）や秘書広報課は利用している。ほか各部署で検討する。

問 コロナにより働き方や生活様式が変わった。在宅ワークなど都会からの受け入れや仕事環境の整備など、将来の市政に活かされる思い切った施策は。

答 テレワークの環境整備、ワーケーション事業など現在検討している。



滝沢 清人

「気候危機」のなか SDGs挑戦の10年

問 新型コロナ禍の中、雨期・台風シーズンを前に、限られた避難場所の利活用と分散避難をどう勧めるか。

答 市内では400mm以上の雨が降った場合、平地では5〜10mの水深で3階以上の避難となり、コロナ禍のなか収容数は2000名ほどで分散避難が必要。皆さまには親戚・友人・知人宅など安全な場所、さらには車中避難なども検討いただき、6・7月と啓発チラシを配布する。

問 世界的な気候危機が叫ばれる中、市民と共に進める「SDGs行動の10年」具体的な取り組みは。

答 市は「気候非常事態宣言」を発し、SDGs・13「気候変動に具体的な対策を」の達成へ、「防犯灯LED化」「焼却ゴミ減量」「森林適正管理」など、温暖化対策に取り組むとともに、19号台風災害を受け「雨水貯留施設設置補助制度」を創設。今後とも「安心・安全」なまちづくりに取り組む。また、職員研修・市民啓発・子ども達への教育に力を注ぎ「持続可能な豊かで活力ある千曲市」の実現を目指す。



ESDで、明るい未来をつくらう！

▲「ESDユネスコ世界会議」ポスター

指す。

問 新型コロナ禍の今こそ、SDGsの「人づくり」、ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むべき。

答 ESDは「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」であり、環境・エネルギー・防災・気候変動など、総合的な学習で人間性を育み「つながり」を尊重できる個人を育てるもので、今回の新型コロナ禍など時々の事象も取り入れ、様々な課題に立ち向かい解決していく力を育む教育を推進していく。



宮坂 重道

「生き物の命を大切に」 について

問 戦後の新しい教育に「生き物の命を大切に」が大きく取り上げられているが、掛け声ばかりかと思われる場面が氾濫している。仏教の世界でさえ無益な殺生は諫め、所詮は生き物の命を頂いて人間は、与えられた命を全うする、この辺までなら素直に理解できる。国で言う動物保護法にしても、今の世相とは、ずれを感じる。毎日のようにニュースになる親の児童虐待、学校での陰湿ないじめ、生きた教育がしつかり身についていれば、子どもから大人へ代は変わっても、考えは陳腐化しないのではないか。

答 幼少期から自然や動植物に触れ合う事が、子どもの成長に大きく影響することは、今も昔も変わらない。人間形成は様々な体験活動や遊びの中から醸成され、人としての感性が育つ。千曲市の持つ自然の素晴らしさを活かしながら、豊かな心を持った子ども達に成長してほしいと切に願っている。

問 抜本的な治水対策を望む
祖先は良質な米を獲得のため、



▲皆 生き物の命だ！！

千曲川流域から離れられず、そのため数限りない水との戦いを強いられ、多くの犠牲を礎に改良を重ねてきた祖先の苦闘の霞堤を、土嚢積みレベルで一時しのぎは禍根を残す。国が手ばかりを認めている間に、国に霞堤と合わせた遊水池を強く求めるべきではないか。

答 遊水池の整備の完成は、令和6年度が目標だが、その間は、今回の補正予算でお願いしている1トンの大型土嚢を民有地を借りて設置し、浸水が起らないよう対策をする予定だ。



和田 英幸

千曲川増水から市民を守る

問 浸水原因の検証は進んでいるか。

答 検証についての調査委託をしていて9月末までに「行う」。

問 原因が確定できないで対策はとれない。それでは遅いのではないか。

答 できるだけ早く検証を進める。

問 市の対策が市民に周知されていない。他の広報も含めてすぐに実施を。

答 夏から秋にかけて市民説明会を行う予定だ。

問 千曲川と埴科水系の五十里川・東林坊川・沢山川の水位とこれら河川の水門の開閉、水の流れについては。

答 東林坊川と五十里川の分岐水門、東林坊川の新田用水との分岐水門は開けたままだった。五十里川排水機場は15時36分に閉鎖。沢山川土口水門は19時に閉鎖した。

問 千曲川の上山田から土口までの河床の高低について説明を。

答 千曲川の万葉橋から岩野橋まで河床は約30mの高低差がある。

問 上田から坂城間はかなり急流、



▲台風19号直後の霞堤内の状況

上山田から戸倉間はやや緩やかになり千曲橋から高速道路の橋梁、土口方面については流れが緩やかになる。千曲橋下流から土砂が溜まることとなる。千曲川河床の土砂浚渫の計画と国への要望は。

答 千曲川の河道掘削は緊急治水対策プロジェクトに位置付けられ河川事務所が土砂堆積調査を行っている。千曲川がよどむ千曲橋から長野自動車道の橋梁付近までを優先的に順次河床掘削を行っていく。7月に市長が千曲川改修期成同盟会として国への要望を行う。



金井 文彦

昨年の大水害を 今年繰り返さないために

問 昨年の水害から8か月、浸水被害発生の原因究明調査がまだ終わらない。遅すぎないか。

答 当該調査委託は3月定例会において補正予算を議会承認いただく必要性があり、3月24日契約、9月末を履行期限として、現在作業を進めている。

問 市街地の浸水被害の原因とされる霞堤からの逆流を防ぐ臨時措置（1トン土嚢の設置）は国・県の了承を得たのか。

答 千曲川河川事務所に説明し、概ね了解を得ている。しかし、これから地権者との交渉を経て、設置場所の選定を行なう中で具体的な協議を進める。

問 1トン土嚢を並べて霞堤からの逆流を防ぐわけだが、技術的な有効性は担保されるのか。

答 土嚢設置の技術的效果については、現在発注している解析調査委託の中で土嚢の耐力などを計算させている。

問 昨年のように千曲川本流の水位が上がれば、被害の中心・尾米川の氾濫は防げない。どう対処する考えか。



▲大型土嚢で霞堤からの流入をくい止める

答 尾米排水ポンプ場が稼働し続けることが重要であり、まずは千曲橋下流の河床整備（掘削）を行なうことが先決だ。

問 コロナ禍において、昨年の水害被災者は今年の大雨に大きな不安を抱えている。少しでも取り除けないか。

答 職員総出で水害対策に手を尽くす。その内容を被災者に告知していく。

【その他の質問事項】
○防災拠点（防災公園）の設置について
○戸倉上山田温泉の再生について
○信州BWのホームタウンとして
○コロナ後の経済と大型商業施設

議会日誌

3月定例会終了後から6月定例会までの議会活動の紹介です。

4月

- 7日 企業等誘致推進特別委員会
- 9日 議会運営委員会
- 13日 総務文教常任委員会
福祉環境常任委員会
- 15日 議会広報特別委員会
- 16日 建設経済常任委員会
長野広域連合議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 北信越市議会議長会定期総会（書面議決）
- 23日 長野広域連合議会臨時会

5月

- 7日 総務文教常任委員会
- 11日 議会全員協議会
- 18日 福祉環境常任委員会
- 25日 議会運営委員会
議会広報特別委員会
- 27日 全国市議会議長会定期総会（書面議決）

※9月定例会日程については、8月中旬頃市のHPへ掲載予定です。

今月号の表紙は……

棚田の田園回帰

「月の都 千曲」が日本遺産に認定されたのは6月19日。3回目の挑戦ということで、ねばり強さを感じる。それ以前に棚田の写真の構想を考えていたので、喜びがふくらんだ。棚田は傾斜地を活かした里山の田んぼ。イネはすくすく育ち、株が太くなっていた。

コロナ禍の中、食料の自給を確保し、3密を避けた暮らしがここにあるのではないだろうかと思いをめぐらせていた。「田園回帰」、「環境農家」という言葉にひかれる。そんな時、この棚田に立つ10代の少年が「ふるさと」をバイオリンで演奏している映像に出会った。この景色と響きに心が動いた。



6月

- 1日 議会全員協議会
令和2年第2回（6月）定例会開会
- 8日 議会運営委員会
一般質問（個人）
- 9日 一般質問（個人）
- 10日 一般質問（個人）・議案審議
- 11日 総務文教常任委員会
- 12日 福祉環境常任委員会
- 15日 建設経済常任委員会
- 18日 令和2年第2回（6月）定例会閉会



中村 了治

コロナ対策と 八幡東産業団地造成を問う

問 「コロナ感染症」第2波、第3波への医療や検査体制の確保は。

答 圏域内では検査外来設置で医師が必要と認めれば検査は可能となった。市も感染を最小限に食い止められるよう準備を進めているが、感染症予防の徹底や、感染した方の特定や情報拡散は絶対にやめてほしい。今後、国や県に医療体制安定のための助成制度を要望していく。

問 生活保護について厚労省から車保有も認める通知が出ているというが。

答 厚労省から見直しの通知が届いている。車保有の相談にはきちんと認められるという話を話しており、今後も細やかな相談支援を行っていく。

問 八幡東産業団地造成事業によって想定される市への経済効果は。

答 進出希望会社は従業員を最大800名と想定しており、災害発生時には長野県全体の「防災減災拠点」としての基地建設を計画している。開発後も道水路の維持活動やお祭りへの参加等地域自治活



▲新しく企業が誘致され造成される予定の八幡東産業団地

動への貢献も期待できる。

問 本事業による市政発展の展望は。

答 国道18号バイパスの早期完成で経済活動場所の拡大も予想される。さらに姉妹棚田の歴史・文化的観光振興の整備が誘導され、市全体の発展・活性化に寄与するものと考えている。「道の駅」は防災上の拠点機能整備等も重要であり適正に判断したい。

問 市道千曲線五加小入口交差点の信号機改善の進捗状況は。

答 警察署からは、この場所の信号機設置は最優先であると聞いており、引き続き警察署に働きかけていく。

議員表彰

全国市議会議長会並びに北信越市議会議長会より、長年議員の職にあり市政発展に尽くされたとして、和田重昭議員（在職20年）、宮入高雄議員（在職15年）、林愛一郎議員（在職15年）が表彰されました。

6月定例会において荻原議長より表彰状の伝達が行なわれ、受賞者を代表して和田重昭議員が謝辞を述べられました。



▲6月定例会で表彰を受けた3名の議員（左から林議員、和田議員、宮入議員）

市民の声



高木 眞さん
(桑原)

コロナ禍で

コロナ禍を脱するキーワードは、検査と補償です。「自粛」は隔離ではありません。一時的に感染拡大を小さくすることはできますが、今後は検査の範囲を広げて確実に隔離を進め、安心して社会活動ができるようにしていくべきです。千曲市独自に検査体制が無理だとしても、広域自治体での連携なら可能ではないでしょうか。

補償は、まず急性性が高い介護関係と十分な治療対処ができるように医療への財政支援を優先。そして、一斉休校の副作用で影響を受けた子育て世代の家に給食費など就学に関わる経費の援助もお願いします。



「議会・市政に関する人」をテーマに寄稿いただきました。

未来を担う意味



飯島 奈海さん
(内川)

少子高齢化が進む中、若者が未来を担うとは、どんな意味をもつのでしょうか。私は、若者が参政しやすい環境を整備する必要がありますと思います。それは、議会と若者の接点が少ない為、政治に対しての関心が低いと思うからです。私は今年、参政権を得ます。しかし、有権者という括りにとらわれず、自分の故郷の為に誰でも意見できる環境があっても良いと思います。その為に議会と市民の関係を密接にし、どの世代の人にとっても信頼できる議会にしたいです。未来に続く架け橋をかけて下さいますよう、期待しています。

（「本人の希望により、写真は掲載しておりません。」）

議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！
お気軽にご意見をお寄せください。



■記入事項

①住所 ②氏名 ③議会だよりへのご意見

■提出方法

上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

■宛先

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地
千曲市議会 議会広報特別委員会
E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
FAX : 026-272-0765

編集後記

世界で新型コロナ感染拡大が続くなか、千曲市ではゼロを維持していますが「新たな生活様式」は継続が必須です。

今議会でも多くの議員が「コロナ」と「豪雨災害」対応について質問し、市の姿勢を質しました。今後の不安なシーズン、私たちは皆様の負託にしっかりと応えてまいります。

(滝沢 清人)

議会広報特別委員

委員長	滝沢 清人
副委員長	齋藤 正徳
委員	小玉 新市
	林 愛一郎
	大澤 洋子
	倉島さやか
	北川原 晃
	金井 文彦

千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会 TEL 026 (272) 0199 (直通) FAX 026 (272) 0765
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議会議長 荻原光太郎 編集／議会広報特別委員会
印刷／寺沢印刷（千曲市大字八幡 2069 番地 7）

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙（古紙配合率 70%の再生紙）を使用しています。